

寄り添い つながる 広報誌

福祉 わかやま

12²⁰²³月号
vol.435

この広報誌の発行に一部共同
募金助成金を利用しています。



今月の表紙

ふくしフォトコンテスト
2023

最優秀賞作品
(裏表紙に関連記事)



ふくしフォトコンテスト2023
～最優秀賞～

ちっちゃん☆ヒーロー☆

そのべりゆうた じゅけいかい
蘭部 竜太 様 (和歌山市 / 社会福祉法人寿敬会)

【エピソード】利用者様と妊娠中の女性職員の、とある会話風景。お腹の中の子どものことで会話が弾み、子育てのアドバイスを下さったり、「また孫が出来るね」なんて冗談も言い合ったりして、自然と笑みもこぼれていました。こんなにもお二人のことを笑顔に出来るなんて、まだ見ぬキミももう立派な☆ヒーロー☆だね！

特集
P2-4

地域で共に生きる

～ 出会いは特例貸付 ～

県社協の情報など
SNSで発信中



Facebook



Instagram

地域で共に生きる

～ 出会いは特例貸付 ～

特例貸付がつながりのはじまり

特例貸付は全国で約382万件、約1兆4千億円の貸付けが実施されました。そして、和歌山県社協では約3万2千件、約130億円もの貸付けを行いました。

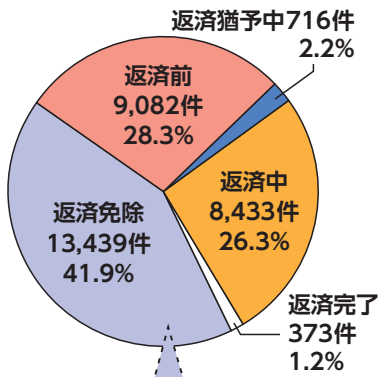
特例貸付は生活に課題のあるたくさんの方とつながるきっかけになりました。県内の社協では、返済が免除になった方を含む特例貸付の全ての利用者に對して訪問活動等によりつながりを継続・強化しています。

今回、特例貸付をきっかけに社協と出会った方が、地域のなかで新たな役割を担い活躍されている事例をご本人と地元社協へのインタビューにより紹介します。

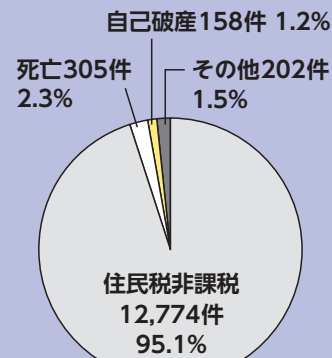
特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例措置である緊急小口資金等の特例貸付は、コロナ禍により減収した世帯に対して、国の特例的な措置として、全国の社会福祉協議会が令和2年3月から令和4年9月末まで実施した貸付事業です。住民税非課税等であれば、申請により返済免除になります。

特例貸付債権の状況別内訳

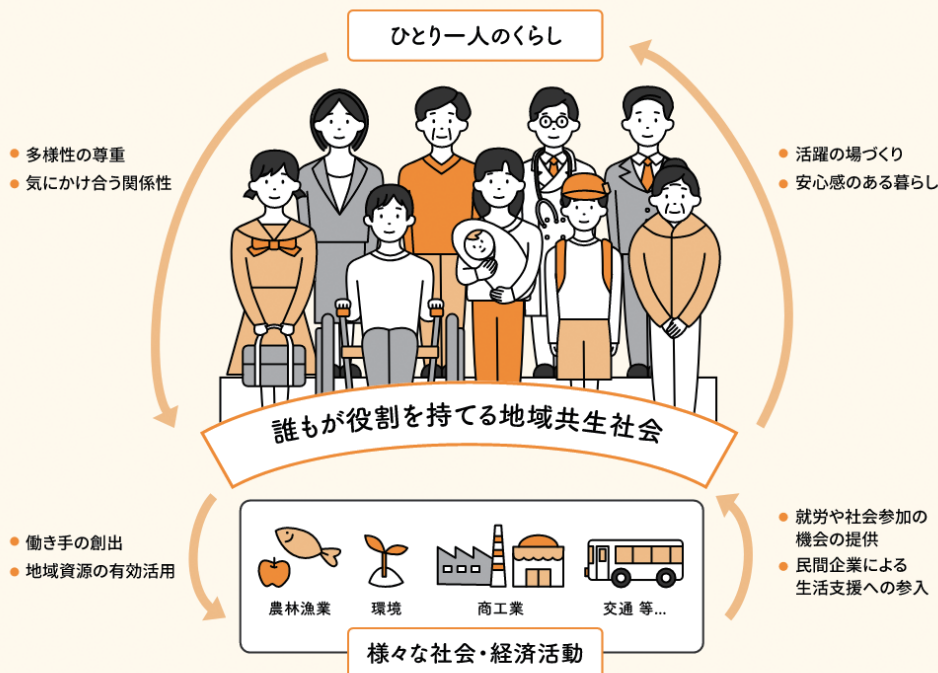


返済免除の理由別内訳



和歌山県内の状況(令和5年9月末現在)

地域共生社会



厚生労働省では、少子高齢化の進行をはじめとして社会経済状況が大きく変化する中、国民生活の安心を確保するためには、社会保障制度を根本的に改革する必要があるとし、その改革の基本コンセプトとして「地域共生社会」の実現を掲げています。

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。

出典：厚生労働省ホームページ

CASE 1 上富田町社協

しば
芝さんご夫妻は特例貸付を利用された後、
上富田町社協の配食サービスでボランティア
アとして活躍されています。



(上) お弁当を車に積み込む芝さん
(右) 上富田町社協の手作りお弁当
(左) 配食サービスの利用者にお弁当をお渡しする芝さんご夫妻



芝さんご夫妻に「おもい」を伺いました

Q 特例貸付の借入相談をされた当時のことを教えてください。

A 30年ほど看板屋をしていましたが、ヒトと出会うことを大事にしたくて、11年前に自宅で妻とカラオケ喫茶をはじめました。ただ、コロナ禍により経営が悪化し生活に困っていたところ、上富田町社協職員の方に特例貸付のことを教えてもらい利用させてもらいました。その後、カラオケ喫茶は廃業しましたが、特例貸付は大変助かったので感謝しています。

Q 配食ボランティアのきっかけや活動の内容を教えてください。

A 何かヒトのため地域のために活動したいと考えていたところ、上富田町社協でボランティアを募集していました。連絡したところ、配食サービスのボランティアを紹介してもらい、主に一人暮らしの高齢者の方へ妻と一緒に弁当を配達することになりました。配達の際はちょっとした世間話をするのでその方が少しでも前向きに、楽しくなればと思いつけをしています。

Q これからの目標を教えてください。

A 今後も高齢者の方とお話したいです。また、配食ボランティアだけでなく、妻と自宅周辺で地域のゴミ拾い活動をしています。とにかく地域のためヒトのためになることを実践していきたいと考えています。

インタビュー

活動をコーディネートした
上富田町社協の坂本さんに
伺いました

芝さんご夫妻からは、特例貸付が大変助かったとお会いするたびにおっしゃっていた聞いていました。そして、今回ボランティア活動までしていただけることになり、今度はこちらが感謝をしています。ありがとうございます。配食ボランティアでは、お弁当の配達時に利用者さんに声掛けもしていただいております。大変喜ばれています。

特例貸付の相談者には真剣に向き合ってきました。何かしら社会生活を送るうえで不便なことや障がいになっていることがあるため、相談に来られます。まずは衣食住などの生活環境を整えることで、普段の暮らしが出来るように支援をしています。そして、相談者に寄り添い続けたいと思っています。

取材後に“パシャリ”
素敵な笑顔を
ありがとうございます



上富田町社協 坂本さん

芝さんご夫妻



UTAさんの発案で取材場所にいた全員（UTAさん、御坊市社協、県社協）が★でつながる



UTAさん（仮名）は特例貸付を利用された後、御坊市社協に食料を寄付されました。

CASE2
御坊市社協



UTAさんから御坊市社協に寄付された食料

UTAさんに「おもい」を伺いました

Q 特例貸付の借入相談をされた当時のことを教えてください。

A コロナ禍のある日突然、勤め先の事業所から一か月後に閉鎖するという連絡がありました。すぐには就職先が決まらず生活に困っていたところ、特例貸付のことを知り、御坊市社協に相談しました。中学生の子どもとの二人世帯だったので、御坊市社協の南さんが心配してくださり、特例貸付の申請時に食料も支給していただきました。食べ物が満足にない状況でしたので、とても助かりました。

Q なぜ御坊市社協に食料を寄付しようと考えたのですか。

A 特例貸付で生活をつなぐ間に就職先が決まりました。何とか自分の生活は落ち着いてきたのですが、まだまだ困っている方がいるのではないかと考え、自分にしていただいたこと（食料給付）を今まだ困っている方につないでもらえたらと思い行動しました。

その後、自分が寄付した食料が実際に困っている方に支給されたらと聞き、とても嬉しくなりました。

Q これからの目標を教えてください。

A 人生で初めて生活苦に陥ったことで、家、食料、仕事のありがたみが分かりました。世の中を変えることは難しくても自分を変えることは出来ます。働けることのありがたさを意識しながら生活していきたいです。

御坊市社協では
たくさんの「TUNAGARU」
事業を実施しています。



(詳細は御坊市社協ホームページ参照)

「TUNAGARUカフェ」とは

人と人が交流し、TUNAGARU場です。誰でも気軽にご利用いただけます。飲み物をご自由にお飲みください。



インタビュー

相談対応した御坊市社協の南さんみなみに伺いました

UTAさんから寄付いただいた食料は、生活に困っておられる方へお届けさせていただきました。UTAさんの「おもい」をつなぐことが出来ました。また、UTAさんからいただいた感謝の言葉は励みになりました。

取材の後、UTAさんには社協内にあるTUNAGARUカフェをご紹介します。今後もUTAさんと何らかの形でつながっていきたいです。



取材を終えて

芝さんご夫妻からは、とにかく「地域のため、ヒトのために」という熱いおもいが伝わってきました。取材後に県社協が募集をしている災害ボランティアの登録をご紹介したところ、後日、お知り合いの方も含めて登録をいただきました。

UTAさんに対しては、ご友人の方にも食料の寄付をしたいという方がいらつしゃるといふことで、御坊市社協の「TUNAGARU」事業をご紹介します。

今回、特例貸付でつながった芝さんご夫妻とUTAさんを通じて、また新たな方とつながることができました。社協が貸付事業を行うことの大きな意味の一つです。事務的な手続きにとどまることなく、利用される方々のおもいに寄り添いたいと日々奮闘する市町村社協職員が、つながりを継続、拡大していくのだと強く感じました。今後の芝さんご夫妻とUTAさんのさらなるご活躍を祈念しています。

受賞おめでとうございます

令和5年度 和歌山県社会福祉功労者表彰式

と き:10月23日(月)
 ところ:和歌山県民文化会館

これまで永年にわたり社会福祉の発展に寄与した方々の功績を讃えるとともに、今後の社会福祉、地域福祉活動のより一層の推進を期するため、本表彰式を開催しました。



和歌山県知事感謝状贈呈

民生委員・児童委員功労者	25名
社会福祉事業従事功労者	7名
福祉ボランティア功労者	5団体



和歌山県社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員功労者	68名
社会福祉施設役員・職員功労者	41名
社会福祉関係団体役員・職員功労者	6名
社会福祉協議会役員・職員功労者	11名
ボランティア功労者	1名、3団体
永年勤続功労者	15名



県社協会長表彰受賞代表 もりした のぶあき 森下 宣明 氏



受賞者代表のことは さかもと さと 坂本 智 氏

令和5年度 全国社会福祉大会

と き:11月15日(水)
 ところ:浅草公会堂

これまで、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々を表彰して一層のご活躍を期待するとともに、社会福祉の一層の充実をめざす機会として開催されました。



全国社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員功労者	5名
社会福祉法人・福祉施設功労者	7名
社会福祉協議会・	
民間社会福祉団体功労者	2名
永年勤続功労者	11名

県社協職員も
受賞しました！

詳しくは、下記QRコードよりご覧ください。



運動期間 12月1日～12月25日

◆NHK歳末たすけあい募金
 NHKと共催で行われる歳末たすけあい募金が今年も実施されます。支援を必要とする障がい者、高齢者、生活に困窮する方々等を対象とする募金運動です。皆様の心温まるご支援、ご協力をお願いいたします。

◆NHK歳末たすけあい募金

運動期間 12月1日～12月31日

参加をお願いいたします。
 誰もが安心して暮らせるまちづくりへの幅広いご理解とご参加をお願いいたします。



歳末たすけあい募金運動
 スタート

◆地域歳末たすけあい募金

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに地域歳末たすけあい募金が始まります。新たな年を迎える時期に、地域の高齢者、障がい者、子ども等の福祉サービスを必要とする方々の支援を目的として、地域住民、ボランティアの皆様、社会福祉協議会等とともに実施するものです。

赤い羽根 わかやま



お問い合わせ先

社会福祉法人和歌山県共同募金会
 〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階
 TEL073-435-5231 FAX073-435-5232

HP <https://www.akaihane-wakayama.or.jp/>

メール info@akaihane-wakayama.or.jp



家庭や職場・学校以外の “第3の居場所”をめざして

社会福祉法人白浜コスモス福祉会

カフェ ラ・パーチェ

白浜町で障がい福祉サービスを経営する白浜コスモス福祉会は、社会福祉法人の公益的な取組として今年度から2本立ての取組を開始。その一つが、8月からスタートした「カフェ ラ・パーチェ^(※)」です。同法人の橋本明彦^{はしもと あきひこ}施設長にお話を伺いました。

※ラ・パーチェ イタリア語で「安らぎ」「落ち着き」の意味があります。

お問合せ先
 (社福)白浜コスモス福祉会
 〒649-2211 西牟婁郡白浜町2927-219
 TEL0739-43-2359

希薄化したつながりを取り戻すために

コロナ禍を経て、より一層、社会的孤立が進行したと言われています。これまで、白浜駅前にある地域活動支援センターを拠点に障がい者を中心とした相談支援事業を実施してきましたが、いま、必要なのは障がい者も高齢者も子どもたちも分け隔てなく、ふと思いついた時に誰もが立ち寄れる居場所^{いどころ}です。こんな居場所があれば、孤立・孤独防止につながり、制度の狭間にある課題にアプローチできるかもしれない。そんな思いを職員と共有してのスタートです。

駅前の立地を生かした、毎月2回のお楽しみ

活動をすすめるために、県社協の協働プロジェクト(地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル事業)の指定を受けました。活動は、毎月2回の土曜日。立地条件の良い地域活動支援センター(駅前コミュニティプラザ)を拠点に、交流活動を中心とした「みんなのふれあい広場」と、自由な時間をのんびりと、飲み物とおしゃ

地域の皆さんのチカラを大事に

運営は、従来から交流のある堅田ふれあいきいきサロン(石田武夫^{たけお}会長)との協働で実施しています。堅田区は町内で最も人口が集中しており(約8千人)、高齢化が課題となっているほか、人口が多い分、ひきこもり等、顕在化しにくい福祉課題も存在します。サロンの皆さん、民生委員さん、堅田区連合町内会、小学校など、地域をよく知る皆さんと法人が協力することで運営がスムーズになり、つながりの幅が広がり、ニーズキャッチにもつながる。地域のチカラは本当に大きいと感じます。

「ラ・パーチェ」は今回で3回目(取材日:10月14日時点)ですが、利用者数は徐々に増えています。誰もが利用できる、家庭や職場・学校以外の第3の居場所(サードプレイス)として。また、当法人の通所施設(コスモスの郷)利用者の休日の居場所として。この緩やかな居場所づくりが、地域共生社会の実現に向けたひとつのモデルとなるよう、まずは活動を「積み重ねる」ことを大事にしたいと思います。



堅田ふれあいきいきサロン
 石田武夫会長(左)
 橋本明彦施設長(右)

福祉人材キャリア形成支援研修 申込受付中

研修名	開催日時	会場	受講申込期限
カスタマーハラスメント対策研修	1月18日(木) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	12月25日(月)
医学・緊急時対応研修	2月15日(木) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	1月25日(木)
リスクマネジメント研修	2月20日(火) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	1月30日(火)
福祉職場における労務管理研修	2月22日(木) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	2月1日(木)

※研修の受講には、受講料がかかります。
 ※定員(先着)になり次第締め切ります。
 ※県社協会員は、会員価格で受講いただけます。
 ※詳細は県社協ホームページをご覧ください。
 ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止になる場合があります。



まなぶぞう

【お問合せ先】県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)
 TEL073-435-5210

今月の情報発信コーナー

～高齢者の生きがいづくり～ わかやま元気シニア生きがいバンク

豊富な知識や経験、資格や技能を持った高齢者がたくさん登録されています。
 地域でのお手伝い、イベントや学習会、学校行事などで活用してみませんか！



- ・人材を探す
 - ・活動のご依頼
 - ・バンクへの登録
- [WEBで検索](#)

わかやま元気シニア生きがいバンク [検索](#)

【お問合せ先】地域福祉部 健康生きがい班
 (土・日・祝日を除く、9時から17時まで)
 TEL073-435-5214

令和5年度
 社会福祉施設
 総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、
 障害者支援施設、
 児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
 充実補償をご提供します！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

プラン1 オプション5 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



ともに生きる **わかやま** 地域社会の実現をめざして

募集テーマ



『笑顔あふれる
みんなの ふくし
～きっと誰もが
誰かのヒーロー!!～』

たくさんのご応募ありがとうございました!!

優秀賞(3作品)



「じごとおわりの
いっぱいはさいこうやー!」
とよしまふみ
豊嶋 文様(すさみ町)



「一緒に
おでかけしよう」
すずき わかほ
鈴木 若葉 様(田辺市)



「伴」に走ろう」
まつばら まはる
松林 正樹 様(和歌山市)

入選(6作品)



「なんでも見えます」
きたじるみ
北地 留美 様(那智勝浦町)



「大好きな桜と一緒に」
いすみ かか
泉 さや香 様(和歌山市)



「元気してるかなあ」
はやみ りょうた
速水 良太 様(那智勝浦町)



「ひっばれ、ひっばれ!」
つじもと あやの
辻本 彩乃 様(和歌山市)



「すべりだい、だいすき!」
よねだ
米田 あい 様(和歌山市)



「笑顔咲く!」
しま りえ
嶋 里恵 様(和歌山市)

「こころを込めた手づくり逸品!」



「Yaaki Kobo」の焼菓子



社会福祉法人やおき福祉会多機能型事業所やおき工房は、『街の人に愛され』『地域のお役に立ち』『ひとりひとりが輝ける』作業所づくりがコンセプトです。

焼菓子づくりは今年で5年目。マドレーヌやクッキー、ブルドネージュ、サブレなど、地元で採れた果実をジャムにして練り込んだものや、小麦アレルギーに配慮した米粉クッキーも製作しており、地元の産直市場等にてお手頃価格で販売しています。今年もクリスマス仕様のお菓子を販売予定。ご予算に応じたギフトの詰め合わせもあります。

その他、「りさいくる手作りめも帳」等の自主製品も製作・販売中!作業所の仲間(利用者)の力作を、ぜひご購入ください!



「ふくしフォトコンテスト2023」の参加賞として使用されています

販売・製造

社会福祉法人 やおき福祉会
やおき工房

住所 田辺市下三栖 1475-201

TEL 0739-33-7784



ご寄附ありがとうございます。

株式会社ツルハホールディングス 様
クラシエ株式会社 様

地域福祉の向上のために、
車椅子3台をご寄附いただき
ました。心から御礼申し
上げます。

